

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2026年第34週（8月17日～8月23日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

インフルエンザの定点当たり報告数が、今週1.18となり、流行期入り目安の定点当たり報告数「1」を超えました。
「京都市域でのインフルエンザの流行期入り」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000357830.html>
小児科の主な定点把握感染症は、手足口病の定点当たり報告数が今週1.06（前週2.33）で、警報終息基準値の「2」を下回りました。
全数把握感染症は、3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症の報告数が、今週一週間で23例（本年累計53例）と急増しています。それに伴い、本市ではホームページにて注意喚起を行っています。下記URLをご参照ください。
「腸管出血性大腸菌感染症の患者発生増加に伴う注意喚起」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000357748.html>

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID19	33	インフルエンザ	1.18	0.67	0.30
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	0.85	1.21	1.55
小児科 (多い順に5位まで)	18	1. 感染性胃腸炎	4.28	2.33	4.06
		2. 手足口病	1.06	2.39	3.39
		3. 水痘	0.61	0.22	0.61
		4. ヘルパンギーナ	0.50	0.50	0.50
		5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	1.28	0.83
眼科	10	流行性角結膜炎	0.10	0.30	0.30

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第33週以前の追加報告分を含みます）

（性別、年齢、症状、感染地域(推定含む)、感染経路(推定含む)等の順に掲載。ただし結核は除く。）

2類感染症 結核 5例（本年累積157例）

今週追加5例内訳(肺結核2例、その他結核2例、潜在性結核感染者1例) うち喀痰塗抹陽性3例
本年累積157例内訳(肺結核52例、その他結核49例、潜在性結核感染者56例) うち喀痰塗抹陽性23例

3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 23例（本年累積53例）
件数が多いため、次項に記載。

4類感染症 デング熱 1例（本年累積2例）

男、38歳(デング熱)、2日以上続く発熱・発疹・血小板減少(100,000/MM3以下)・白血球減少、国外(モルディブ)、蚊

4類感染症 レジオネラ症 1例（本年累積21例）

女、76歳(肺炎型)、呼吸困難・肺炎、国内、不明

5類感染症 急性脳炎 2例（本年累積3例）

男、0歳(パレコウイルス)、発熱・痙攣、国内、飛沫・飛沫核

女、3歳(病原体不明)、発熱・痙攣・意識障害、国内、不明

5類感染症 梅毒 1例（本年累積74例）

女、31歳(早期顕症)、梅毒性バラ疹、国内、性的接触(異性間)

◆ 注目すべき感染症（最新の特集：腸管出血性大腸菌感染症）

感染症の流行状況等に応じて、注目すべき感染症を特集しています。下記URLから御覧ください。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000326147.html>

◆ 次ページ以降の内容

- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・急性呼吸器感染症（ARI）の年齢階級別及び行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2026年8月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVID19と記載している箇所があります。

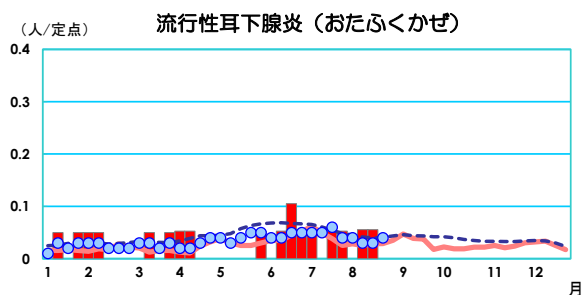
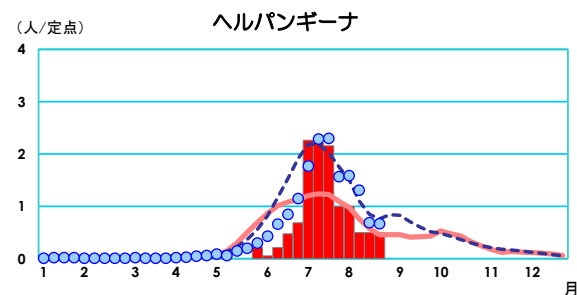
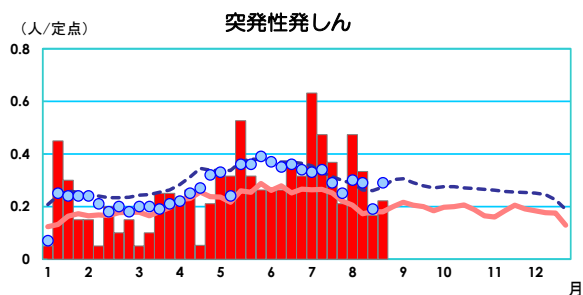
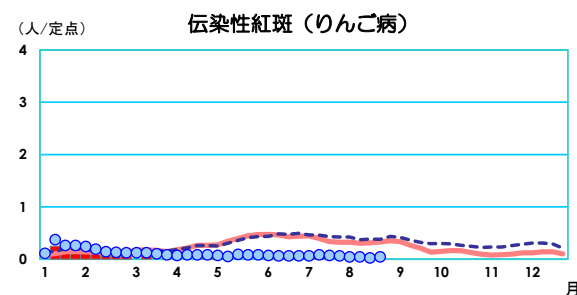
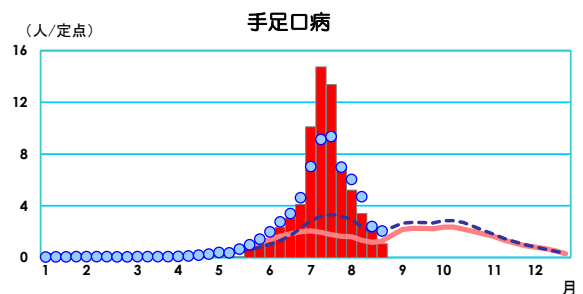
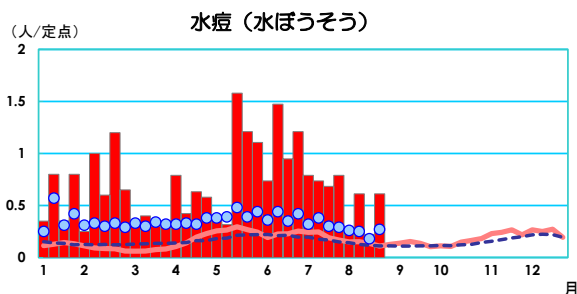
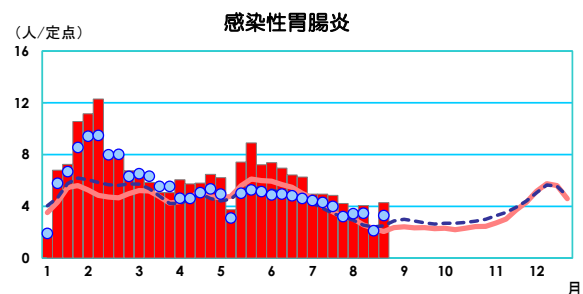
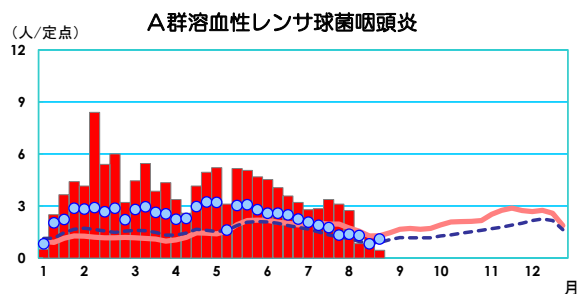
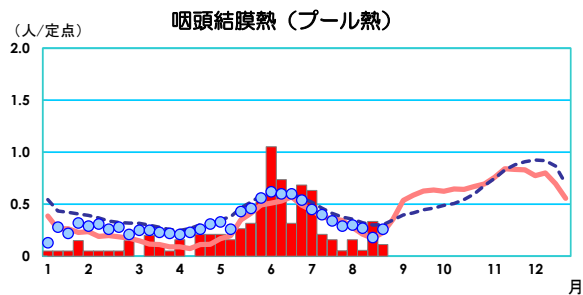
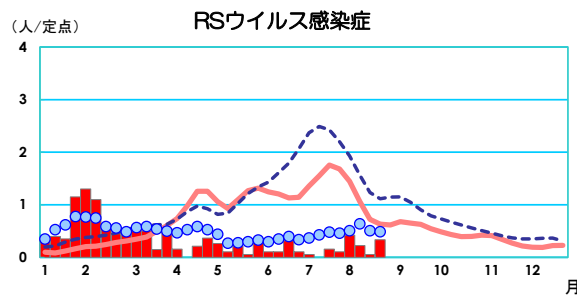
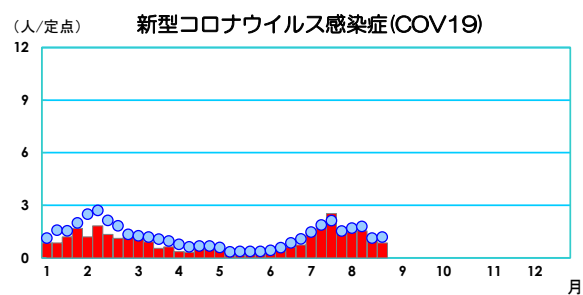
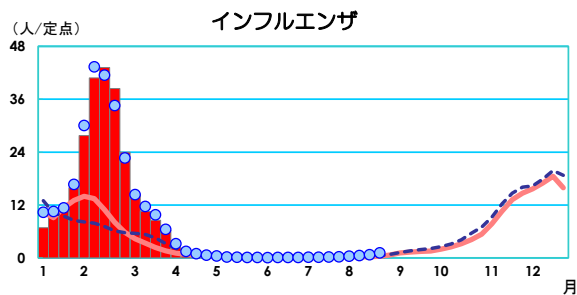
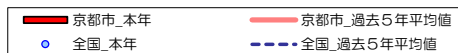
【別紙】

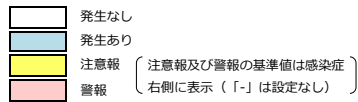
全数把握感染症の報告状況:腸管出血性大腸菌感染症

2026年第34週(8月17日～8月23日)

性別	年齢	症状	感染地域	感染経路	血清型	毒素
男	6	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、溶血性貧血、溶血性尿毒症症候群(HUS)、痙攣、血尿、頭痛、黄疸	国内	不明	O157	VT1VT2
男	18	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群(HUS)、頭痛	国内	経口	O157	VT1VT2
男	19	腹痛	国内	不明	O157	不明
男	25	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT2
男	60	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT1VT2
男	66	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT1VT2
男	68	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT1VT2
男	82	腹痛、水様性下痢、血便	国内	不明	O157	VT1VT2
女	13	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐	国内	不明	O157	VT1VT2
女	15	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	不明	不明	O157	VT1VT2
女	20	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT1VT2
女	24	腹痛	国内	接触(家族内)	O157H7	VT1VT2
女	24	腹痛、水様性下痢、血便、溶血性尿毒症症候群(HUS)	国内	経口	O157	不明
女	26	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	不明
女	28	なし	国内	接触(家族内)	O157H7	VT1VT2
女	48	なし	国内	不明	O124	VT2
女	49	腹痛、水様性下痢、血便	国内	不明	O157	VT1VT2
女	55	腹痛、水様性下痢、血便	国内	不明	不明	VT1VT2
女	62	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	国内	不明	O157	VT1VT2
女	65	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	国内	接触(家族内)	O157	VT1VT2
女	85	腹痛、水様性下痢、血便	国内	接触(家族内)	O157	VT1VT2
女	89	腹痛、水様性下痢、血便	国内	経口	O157	VT1VT2
女	90	腹痛、水様性下痢、血便	国内	接触(家族内)	不明	VT1VT2

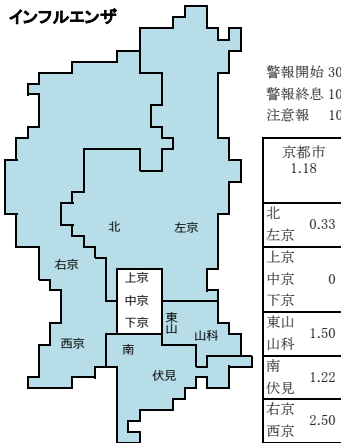
インフルエンザ/COVID19及び小児感染症の疾病別推移（2026年）



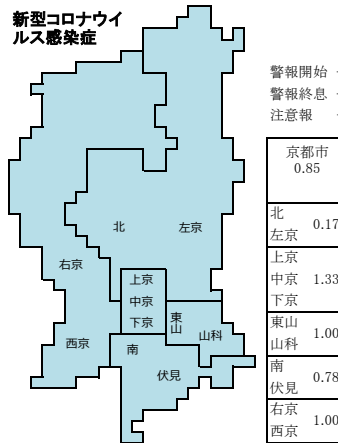


※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。
※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に
注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。
※令和7年15週以降、感染症法の改正に伴う定点医療機関数の変更により、各行政区別表示から、複数区の
合算表示に変更となりました。

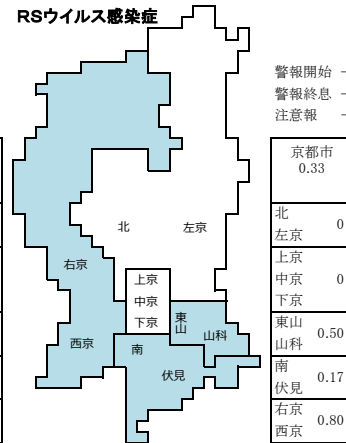
インフルエンザ



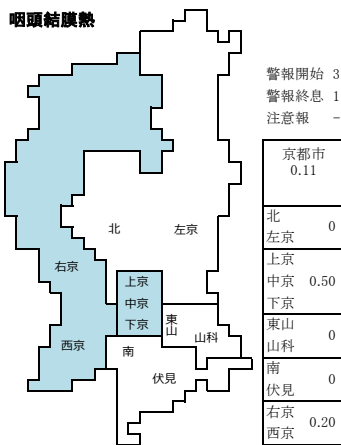
新型コロナウイルス感染症



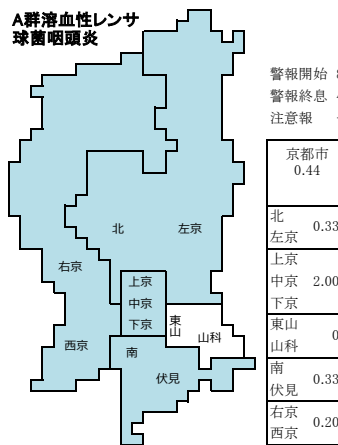
RSウイルス感染症



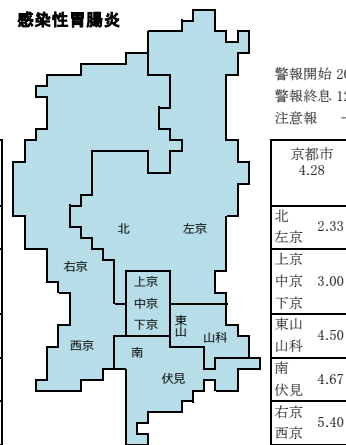
咽頭結膜熱



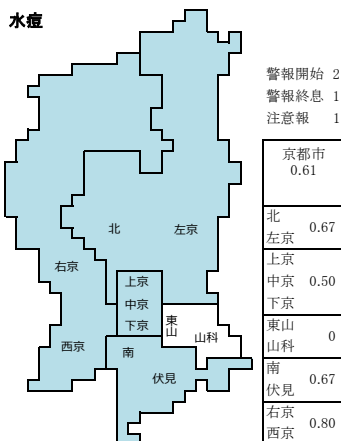
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



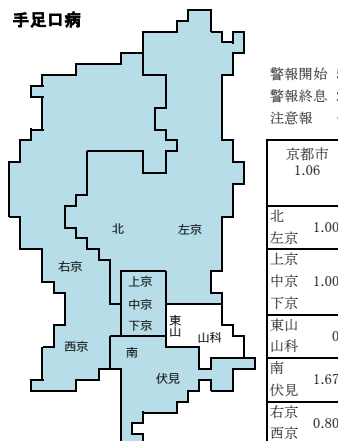
感染性胃腸炎



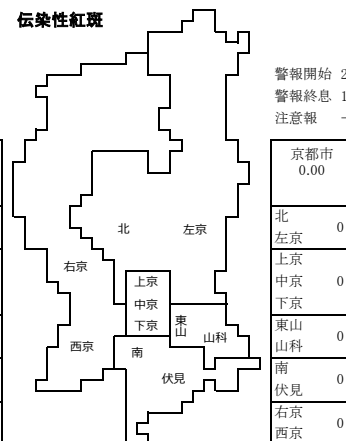
水痘



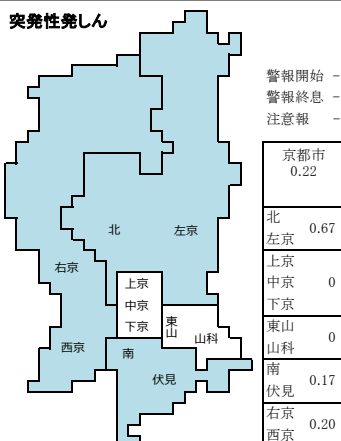
手足口病



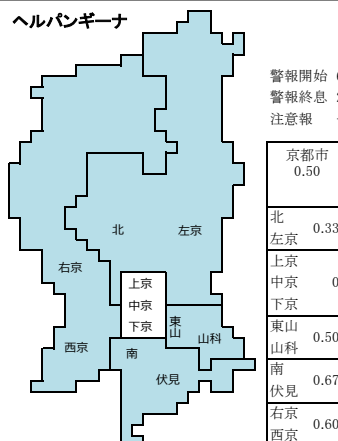
伝染性紅斑



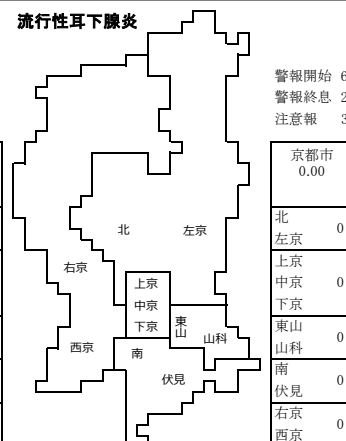
突発性発しん



ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



2026年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2026/1/1～2026/8/23

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 累計	2025年 累計(参考)
2類	急性灰白髄炎（ポリオ）													
	結核	18	23	21	19	19	22	20	15				157	232
	ジフテリア													
	重症急性呼吸器症候群（SARS）*1													
	中東呼吸器症候群（MERS）*2													
3類	鳥インフルエンザ（H5N1）													
	鳥インフルエンザ（H7N9）													
	コレラ													
	細菌性赤痢													1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	2		1	4	3	7	33				53	25
4類	腸チフス													
	パラチフス													
	E型肝炎			1		1							2	4
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
	A型肝炎				1	2							3	3
5類	エキノコックス症													
	黄熱													
	オウム病													
	オムスク出血熱													
	回帰熱													
6類	キャサナル森林病													
	Q熱													
	狂犬病													
	コクシオイデス症													
	エムボックス													1
7類	ジカウイルス感染症													
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3													2
	腎症候性出血熱													
	西部ウマ脳炎													
	ダニ媒介脳炎													
8類	炭疽													
	チクングニア熱													
	つつが虫病													
	デング熱				1			1					2	4
	東部ウマ脳炎													
9類	鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）													
	ニパウイルス感染症													
	日本紅斑熱				2	1							3	3
	日本脳炎													
	ハンタウイルス肺症候群													
10類	Bウイルス病													
	鼻疽													
	フルセラ症													
	ペネズエラウマ脳炎													
	ヘンドラウイルス感染症													
11類	発しんチフス													
	ボツリヌス症													
	マラリア	1											1	
	野兔病													
	ライム病													
12類	リッサウイルス感染症													
	リフトバレー熱													
	類鼻疽													
	レジオネラ症	1	1	1		5	3	7	3				21	47
	レプトスピラ症													2
13類	ロッキー山紅斑熱													
	アメーバ赤痢													
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）		2	1	1	2	1	1					8	6
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	2	1	2	2	2					12	13
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)													1
14類	急性脳炎*4						1	2					3	5
	クリプトスポリジウム症													
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1											1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	2	3	4	2	2					19	19
	後天性免疫不全症候群			1		2	1	5					9	12
15類	ジアルジア症						1						1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		2		1		1	2					6	16
	侵襲性髄膜炎菌感染症				1		1						2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3	6	5	11	5	4					40	56
	水痘（入院例に限る。）	1	2	2	1	3		1					10	13
16類	先天性風しん症候群													
	多剤耐性緑膿菌感染症*5						1						1	
	梅毒	9	5	13	9	7	11	17	3				74	117
	播種性クリプトコックス症		1										1	1
	破傷風					1							1	1
17類	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1							2	1
	百日咳	9	7		2	3	3	2	2				28	466
	風しん													1
	麻疹													6
薬剤耐性アシネトバクター感染症														

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(*3)病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(*5) 2026年4月6日から全数把握感染症に追加。

報告数		2026年 第34週（2026/8/17～2026/8/23）				データ取得日：2026年8月26日	
		北・左京	上京・中京・下京	東山・山科	南・伏見	右京・西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	6	6	4	9	8	33
	（報告医療機関数）	6	6	4	9	8	33
インフル COV19	インフルエンザ(※１)	2	-	6	11	20	39
	新型コロナウイルス感染症(※２)	1	8	4	7	8	28
	小児科（定点医療機関数）	3	2	2	6	5	18
	（報告医療機関数）	3	2	2	6	5	18
小児科	R Sウイルス感染症	-	-	1	1	4	6
	咽頭結膜熱	-	1	-	-	1	2
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	-	2	1	8
	感染性胃腸炎	7	6	9	28	27	77
	水痘	2	1	-	4	4	11
	手足口病	3	2	-	10	4	19
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	2	-	-	1	1	4
	ヘルパンギーナ	1	-	1	4	3	9
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-
	眼科（定点医療機関数）	2	3	1	2	2	10
	（報告医療機関数）	2	3	1	2	2	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	1	1
	基幹（定点医療機関数）	...	1	...	...	...	1
	（報告医療機関数）	...	1	...	...	...	1
基幹	細菌性髄膜炎(※３)	...	...	...	...	...	...
	無菌性髄膜炎	...	...	...	...	...	...
	マイコプラズマ肺炎	...	1	...	...	...	1
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	...	...	...
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	...	...	...

定点当たり報告数		北・左京	上京・中京・下京	東山・山科	南・伏見	右京・西京	京都市計
インフル COV19	インフルエンザ(※１)	0.33	-	1.50	1.22	2.50	1.18
	新型コロナウイルス感染症(※２)	0.17	1.33	1.00	0.78	1.00	0.85
小児科	R Sウイルス感染症	-	-	0.50	0.17	0.80	0.33
	咽頭結膜熱	-	0.50	-	-	0.20	0.11
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	2.00	-	0.33	0.20	0.44
	感染性胃腸炎	2.33	3.00	4.50	4.67	5.40	4.28
	水痘	0.67	0.50	-	0.67	0.80	0.61
	手足口病	1.00	1.00	-	1.67	0.80	1.06
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
	突発性発しん	0.67	-	-	0.17	0.20	0.22
	ヘルパンギーナ	0.33	-	0.50	0.67	0.60	0.50
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	0.50	0.10
基幹	細菌性髄膜炎(※3)	...	...	...	...	...	...
	無菌性髄膜炎	...	...	...	...	...	...
	マイコプラズマ肺炎	...	1.00	...	...	...	1.00
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	...	...	...
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	...	...	...

※１ インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※２ 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※３ 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※４ 令和７年15週以降、感染症法の改正に伴う定点医療機関数の変更により、各行政区別表示から、複数区の合算表示に変更となりました。

報告数

2026年 第34週（2026/8/17～2026/8/23）

データ取得日：2026年8月26日

インフルエンザ/COVID-19定点 （報告医療機関数33）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	39	-	1	2	-	3	4	8	6	1	1	3	6	1	-	-	2	-	-	1	-
新型コロナウイルス感染症(※2)	28	-	-	-	-	3	1	1	3	-	-	4	-	1	1	1	3	4	-	4	2

小児科定点 （報告医療機関数18）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	6	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	-	-	1	-	-	4	-	1	-	-	1	-	-	1
感染性胃腸炎	77	1	6	18	8	2	4	5	4	5	6	4	12	1	1
水痘	11	-	-	1	1	1	-	2	-	-	-	2	4	-	-
手足口病	19	1	2	8	5	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	4	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	9	-	1	2	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 （報告医療機関数10）	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

基幹定点 （報告医療機関数1）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	1.18	-	0.03	0.06	-	0.09	0.12	0.24	0.18	0.03	0.03	0.09	0.18	0.03	-	-	0.06	-	-	0.03	-
新型コロナウイルス感染症(※2)	0.85	-	-	-	-	0.09	0.03	0.03	0.09	-	-	0.12	-	0.03	0.03	0.03	0.09	0.12	-	0.12	0.06

小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上
R Sウイルス感染症	0.33	0.22	-	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.11	-	-	0.06	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	-	-	0.06	-	-	0.22	-	0.06	-	-	0.06	-	-	0.06
感染性胃腸炎	4.28	0.06	0.33	1.00	0.44	0.11	0.22	0.28	0.22	0.28	0.33	0.22	0.67	0.06	0.06
水痘	0.61	-	-	0.06	0.06	0.06	-	0.11	-	-	-	0.11	0.22	-	-
手足口病	1.06	0.06	0.11	0.44	0.28	0.06	0.06	-	-	-	-	-	0.06	-	-
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.22	-	-	0.11	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.50	-	0.06	0.11	0.11	0.11	-	-	-	0.11	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10

基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

報告数		2026年24週 ～ 2026年34週											データ取得日：2026年8月26日			
		疫学週	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34			
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)			
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）		34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33			
	（報告医療機関数）		34	34	34	34	34	34	34	34	33	33	33			
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		7	10	1	1	4	8	7	7	10	22	39			
	新型コロナウイルス感染症（※2）		15	21	25	49	61	86	57	50	51	40	28			
	小児科（定点医療機関数）		19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18			
	（報告医療機関数）		19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	18			
小児科	R Sウイルス感染症		2	6	2	1	-	3	2	8	4	1	6			
	咽頭結膜熱		14	6	13	12	4	3	1	3	1	6	2			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		77	68	61	53	54	64	59	52	15	23	8			
	感染性胃腸炎		132	122	119	94	94	92	80	68	73	42	77			
	水痘		28	18	23	15	14	13	15	5	11	4	11			
	手足口病		44	58	78	192	280	254	130	99	61	43	19			
	伝染性紅斑		-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
	突発性発しん		5	7	6	12	9	7	4	9	6	3	4			
	ヘルパンギーナ		4	9	13	43	42	41	19	19	9	9	9			
	流行性耳下腺炎		1	2	1	1	-	1	1	-	1	1	-			
		眼科（定点医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
		（報告医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
眼科	急性出血性結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-			
	流行性角結膜炎		3	1	1	3	2	-	2	1	3	3	1			
	基幹（定点医療機関数）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	（報告医療機関数）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
基幹	細菌性髄膜炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-			
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	1	-	-	1	-	3	-	1			
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-			

定点当たり報告数		疫学週	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34		
			(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)		
インフル COV19	インフルエンザ（※1）		0.21	0.29	0.03	0.03	0.12	0.24	0.21	0.21	0.30	0.67	1.18		
	新型コロナウイルス感染症（※2）		0.44	0.62	0.74	1.44	1.79	2.53	1.68	1.47	1.55	1.21	0.85		
小児科	R Sウイルス感染症		0.11	0.32	0.11	0.05	-	0.16	0.11	0.42	0.22	0.06	0.33		
	咽頭結膜熱		0.74	0.32	0.68	0.63	0.21	0.16	0.05	0.16	0.06	0.33	0.11		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4.05	3.58	3.21	2.79	2.84	3.37	3.11	2.74	0.83	1.28	0.44		
	感染性胃腸炎		6.95	6.42	6.26	4.95	4.95	4.84	4.21	3.58	4.06	2.33	4.28		
	水痘		1.47	0.95	1.21	0.79	0.74	0.68	0.79	0.26	0.61	0.22	0.61		
	手足口病		2.32	3.05	4.11	10.11	14.74	13.37	6.84	5.21	3.39	2.39	1.06		
	伝染性紅斑		-	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-		
	突発性発しん		0.26	0.37	0.32	0.63	0.47	0.37	0.21	0.47	0.33	0.17	0.22		
	ヘルパンギーナ		0.21	0.47	0.68	2.26	2.21	2.16	1.00	1.00	0.50	0.50	0.50		
	流行性耳下腺炎		0.05	0.11	0.05	0.05	-	0.05	0.05	-	0.06	0.06	-		
眼科	急性出血性結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-		
	流行性角結膜炎		0.30	0.10	0.10	0.30	0.20	-	0.20	0.10	0.30	0.30	0.10		
基幹	細菌性髄膜炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-		
	マイコプラズマ肺炎		-	-	-	1.00	-	-	1.00	-	3.00	-	1.00		
	クラミジア肺炎(オウム病除く)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（急性呼吸器感染症（ARI）※）

TARI

2026年 第34週（2026/8/17～2026/8/23）

データ取得日：2026年8月26日

年齢階級別

報告数

ARI定点 （報告医療機関数34）	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症	1,076	107	397	216	79	34	47	31	34	43	31	30	27

定点当たり報告数

ARI定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症	32.61	3.24	12.03	6.55	2.39	1.03	1.42	0.94	1.03	1.30	0.94	0.91	0.82

行政区別

報告数

	北区 左京区	上京区 中京区 下京区	東山区 山科区	南区 伏見区	右京区 西京区	京都市計
ARI定点（定点医療機関数）	6	6	4	9	8	33
（報告医療機関数）	6	6	4	9	8	33
急性呼吸器感染症	115	114	201	447	199	1,076

定点当たり報告数

	北区 左京区	上京区 中京区 下京区	東山区 山科区	南区 伏見区	右京区 西京区	京都市計
急性呼吸器感染症	19.17	19.00	50.25	49.67	24.88	32.61

※急性呼吸器感染症 2025年4月7日から集計を開始

インフルエンザ 全国推移（2026年）

警報開始：30 警報終息：10 注意報：10 流行期入目安：1

凡例：

0-1	1-5	5-10	10-30	30-45	≥45	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国及び京都府は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

新型コロナウイルス感染症 全国推移（2026年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-10	≧10					…(報告なし)	-(ゼロ)
------	-----	--	--	--	--	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国及び京都府は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

RSウイルス感染症 全国推移（2026年）

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2.5	2.5-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-------	-------	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

咽頭結膜熱 全国推移 (2026年)

警報開始：3 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-3	3-6	≥6	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 全国推移（2026年）

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

感染性胃腸炎 全国推移 (2026年)

警報開始：20 警報終息：12 注意報：設定なし

凡例：

0-3	3-6	6-12	12-20	20-30	≥30	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	------	-------	-------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

水痘 全国推移 (2026年)

警報開始：2 警報終息：1 注意報：1

凡例：	0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

手足口病 全国推移 (2026年)

警報開始：5 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-5	5-10	≥10	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

伝染性紅斑 全国推移 (2026年)

警報開始：2 警報終息：1 注意報：設定なし

凡例：

0-0.25	0.25-0.5	0.5-1	1-2	2-4	≥4	…(報告なし)	-(ゼロ)
--------	----------	-------	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

突発性発しん 全国推移 (2026年)

警報開始：設定なし 警報終息：設定なし 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-3	3-4	4-6	≥6	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

ヘルパンギーナ 全国推移（2026年）

警報開始：6 警報終息：2 注意報：設定なし

凡例：

0-0.5	0.5-1	1-2	2-6	6-9	≥9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-------	-------	-----	-----	-----	----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することにより、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

流行性耳下腺炎 全国推移 (2026年)

警報開始：6 警報終息：2 注意報：3

凡例：

0-1	1-2	2-3	3-6	6-9	≥ 9	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	-----	----------	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

急性出血性結膜炎 全国推移 (2026年)

警報開始：1 警報終息：0.1 注意報：設定なし

凡例: 0-0.05 0.05-0.08 0.08-0.1 0.1-1 1-1.5 ≥ 1.5 …(報告なし) -(ゼロ)

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)

流行性角結膜炎 全国推移 (2026年)

警報開始：8 警報終息：4 注意報：設定なし

凡例：

0-1	1-2	2-4	4-8	8-12	≥12	…(報告なし)	-(ゼロ)
-----	-----	-----	-----	------	-----	---------	-------

※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として、自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。

[illegible]

全国は最新週時点、他都道府県は当該週時点の値です。

京都市感染症情報センター(京都市衛生環境研究所)